

# 医学図書館誌 レファレンス事例集について

---

医学図書館誌編集委員  
レファレンス事例集担当  
愛知医科大学医学情報センター(図書館) 小林晴子  
滋賀医科大学附属図書館 菅修一  
編集委員長  
東邦大学医学メディアセンター 大谷裕

第25回医学情報サービス大会 参加者企画 医学系レファレンスの集い  
2008年7月13日(日)い

# ご報告内容

## I. 企画

## II. 現状（原稿の集め方等）

## III. ご意見・ご感想

- ・ 執筆者の方から
- ・ 読者の方から
- ・ レファレンス事例の共有について

# 企画-1 きっかけ

## 提案

- 委員会での提案(2006年9月22日)  
(委員会では毎回、記事候補のディスカッションを行っています。)

## 発端

- 発端  
かながわレファレンス探検隊「図書館のプロが教える調べるコツ」

## 検討

- 検討  
JMLA(HP)「私のレファレンスノート」等の同様の企画  
医学図書館誌としてどのようなやり方があるか

- ◎ 2006年9月22日の委員会での提案。
- ◎ 発売されたばかりのかながわレファレンス探検隊がまとめた読み物風レファレンス事例集「図書館のプロが教える調べるコツ」を読んだ委員が、本誌でこのような試みがおこなえないかというのが発端です。その場で過去、JMLAがHP上で行っていた「私のレファレンスノート」、図書館雑誌の「レファレンス三題噺」、レファレンス共同データベースなどの同様の企画などが話題に上がり、「医学図書館」誌として、どのようなやり方があるかを検討することになりました。

# 企画-2 コンセプト

当時、200件程度だったレファレンス共同データベースの医学の項目にすべて目を通し、記事のスコップを検討し、下記のようなコンセプトづくりを行いました。

## 1問1答形式ベース

- 図書館雑誌の「レファレンス三題噺」のような読み物形式ではなく。

## 他館にも参考になる事例

- 日頃のレファレンス業務の中から、多角的に探索した例等、他館にも参考になる事例を紹介いただく。

## 基本的な構成

- 質問，調査の経緯，回答，情報源，補足，ポイント

## 視覚的にわかりやすい誌面

- 図表を掲載

# 事例集構成

## レファレンス 題

[具体的な内容を体言止めで、端的に表現する。]

## 質問

- ①差し支えなければ質問者  
(学生,教職員,学外者等)
- ②質問受付方法  
(口答,電話,FAX,Email)
- ③質問受付の年月  
(西暦)  
年 月)

## 調査の経緯

[調査内容や経緯について説明する。調査過程の図示や、図表を記載する。]

## 回答

- ・質問者への回答を記載する。  
\*「調査の経緯」と「回答」とを別々に記載しにくい場合は、「調査の経緯・回答」という一項目内に経緯と回答を含めて記載する。

## 情報源

- ・使用した資料・情報源を使用順、箇条書で、可能な限り本誌の参考文献の形式で記載する。

## 補足

発展的補足事項・感想。利用者に回答したことのほかに、図書館員として知っておいたほうがよい補足的な内容等特筆すべきことがなければ必ずしも記載を必要としない。

## ポイント

今回のレファレンスのポイントを簡潔に。  
31字以内、標語や五七調など、短く端的に。  
特筆すべきことがなければ必ずしも記載を必要としない。

## 企画-3 スタート

委員の所属する館から実際 of 原稿を出してもらい、レイアウト面の検討を重ね、2007年3月の54巻1号からスタートしました。

55巻2号(2008年6月) 18事例

## Ⅱ 現状 -1 事例集依頼方法

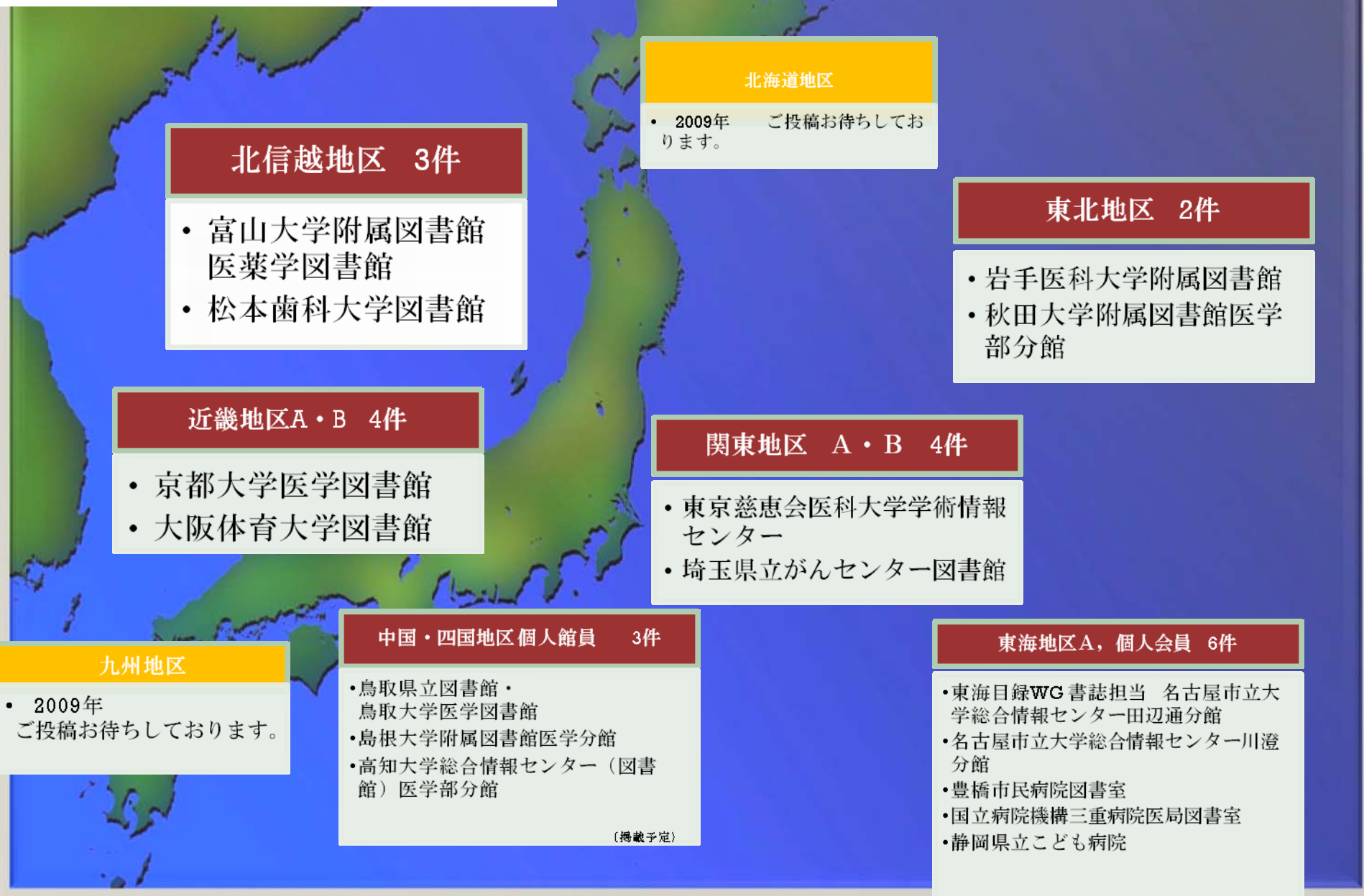
編集協力委員の  
協力（8地区）

ピンポイント  
依頼

- 主題を指定しての依頼
- 得意分野の図書館に依頼

投稿

編集協力委員のご協力により、  
地区ごとに依頼しています。  
機関:12,個人会員:3,非会員:2



[掲載予定]



# ピンポイント依頼

- ◎ 専門主題を取り扱う図書館のレファレンス  
癌に特化したレファレンス  
スポーツ関連のレファレンス
- ◎ 患者図書室のレファレンス
- ◎ 図書館員同士
- ◎ 病院図書室のレファレンス
- ◎ 公共図書館と大学図書館の連携によるレファレンス  
(健康情報)

皆様からのリクエストもお待ちしております。歯，保健系など

# Ⅱ 現状 データ分析

## 事例集No.1～18(54/1-55/2)

### 質問者区分

#### 学内者 12名

- ・同窓生(1)
- ・感染症専門医(1)
- ・病院職員(1)

#### 学外者 6名

- ・民間病院の勤務医(1)
- ・病院図書室司書(1)
- ・患者家族(1)
- ・入院患者(1)
- ・入院患者家族(2)

### 受付方法

#### 非来館型 8件

E-mail (4)

電話受付(4)

#### 対面型 10件

口頭受付・直接  
受付(10)

### 種別

文献紹介 2件

事実調査4件

書誌的事項調査 3 件

所蔵調査 3 件

利用案内(検索方法  
他) 6件

# Ⅲ 執筆者の方からー1

## 執筆にあたって

- ◎ 自館の特徴や環境を知ってもらいたかった。
- ◎ 事例の再利用の観点から、他館の方にどこまで参考になるかについて悩みました。
- ◎ 所属機関に特化していない回答のものを選んだ。
- ◎ 高度な専門資料やデータベースがなくても回答が得られたものを選んだ。
- ◎ 文献検索の依頼を受けたものの中から、参考になりそうな事例を2つ挙げました。データベースの版元にも原稿を見ていただきアドバイスをいただきました。
- ◎ 患者さんへのレファレンスは、自館では類似例が少ない。他大学と共有したいと思った。

### Ⅲ 執筆者の方から-2 寄稿して

- ◎ 各部署との連携について書いたことで、他大学の方から図書館（室）の在り方について褒めていただいた。
- ◎ 原稿にしたことによって、事例が職員に周知され、応用のレファレンスができるようになった。

# Ⅲ 執筆者の方からー3

## フリートーク

- ◎ どんな些細な（簡単な）レファレンスでも記録を必ずとっておくことが大事。
- ◎ 調査事例としてWebサイトを紹介するのは適当なのか迷います。サイトの内容が変更されていたり、サイト自体がなくなっていたり、いつまで無料で提供される機能なのかが不明であったりなど。事例を蓄積することを考えるのであればこういった課題もあると思います。

# Ⅲ 読者の方から

紹介される事例には今まできづいていなかったものもあり、あらためて確認する良い機会になります。

毎号読んでいる記事の一つ、具体的なので面白い

医学系図書館のレファレンスに特化されているのでありがたい

オンライン系のレファレンスが多く参考になる

連載として続けてほしい。取りまとめて書籍にしたらどうだろうか。

# Ⅲ レファレンス事例の 共有について

- ◎ 多くの事例をデータベース化して，すべての図書館員の共有財産とすべき。
- ◎ 「医学図書館」のレファレンス事例集をコアにして，全国の医学系図書館員が共同で作るレファレンス・データベースをみんなで利用するシステムは，比較的容易にできると思います。
- ◎ 今後、たとえば協同データベースなどへの参加を考えた場合、依頼内容を一般化して紹介するなどの加工が必要になるかと思っています。
- ◎ 専門外の図書館の方にとっては、調査過程（何を参照したか）は参考になると思います。

# 55巻3号予告

(2008年9月発行予定)

- ◎ 公共図書館と大学図書館との連携  
健康情報のレファレンス事例
- ◎ 体育系データベースでのレファレンス事例

本日はありがとうございました。  
ご投稿お待ちしております。